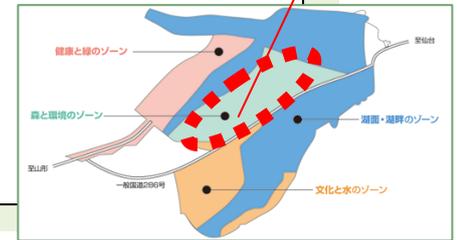




みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



平成28年3月12日（土）今年度最後の活動！早い春を楽しみました！

今年は冬の厳しい寒さをあまり感じずに、春が訪れるようですね。小野分校の小さな畑では、青菜が花芽を出し、里山では春を告げるフキノトウがたくさん生えました。

今年度最後の会員活動では、早い春を味わいました。

春の恵み、フキノトウ

フキノトウは、 蔞の花芽のこと。早春、葉の伸出より先に花茎が伸び出します。これを蔞の臺と呼んでいます。

蔞は、日本原産で、広く分布しており、北は樺太から朝鮮半島や中国大陸でも見られます。山では沢や斜面、河川の中洲や川岸、林の際などで多く見られます。この里山にもたくさん生えました！



▼フキノトウ

もうひとつ春の恵み、シイタケ

平成25年12月のコマ打ちをしたシイタケが、いよいよ大きくなってきました。

駒（種菌）を打った原木を、涼しいスギ林に寝かせておき、菌糸体の蔓延を待ちました。

あれから2年と3カ月、まだまだ小さいけど、今日は初めての収穫。シイタケは春、ナメコは秋の矢野しみです。



▼原木シイタケ



春の味わい

山で収穫したフキノトウとシイタケは天ぷらにしました。フキノトウは、子ども達に少しにがかったようです。

ごはんは、もちろん、飯盒炊飯です。山の楽しみ！



木工、竹工

里山には工作に使える材料がたくさんあります。この写真は、木片で魚を作って、竹で釣竿を作って、魚釣りをするところだそうです。

なんで里山で魚釣りなの？なんて聞いてもよくわかりません。子どもの発想は面白いですね！



雪の遊び道具 再び

ボランティアが作った雪の遊び道具の、雪がない時の遊び方！それは滑るようにすればいいのです。

以前、竹すだれづくりを盛んにしていましたが、その時の作品を地面に敷くと…ほら、ローラースライダーと同じ！今回もけっこう、楽しめましたね～。



ぞり



スケートボード